

授業概要

フランス語の習得は、ラテン語から派生した他の言語（スペイン語、イタリア語など）や英語をマスターする上での足がかりとなり、個人としての能力をさらに発展させる（特にファッション、料理、アート、ビジネスなど）。講義では、「フランス語Ⅰ（初級）」につづき、豊かで楽しいフランス語の文化を学ぶ。基礎文法をマスターして「読む・書く・聴く」の力を養い、仏語を話せるようにする。

前期同様、初心者にも分かり易い、会話演習をベースとしたビデオ教材を使う。毎回簡単な会話を練習し、基本的な文法について講義する。さらに、実践的なコミュニケーション能力を養うべく、フランス映画の映像やシャンソンを視聴し、単語集を使った語彙の補完につとめる。

授業計画

第1回	ものの尋ね方 —— 疑問副詞／パリの中の日本
第2回	デパートでお買い物 —— 中性代名詞 en、疑問形容詞／上手な買い物の仕方
第3回	友人を招待する —— 命令形／フランス人の上手な「おもてなし」
第4回	ヨーロッパのスポーツ —— 非人称構文／ツール・ド・フランスについて
第5回	友だちを紹介する —— 指示代名詞／ノルマンディー地方のグルメ
第6回	パリのデパート —— 比較級・最上級／フランス語でショッピング
第7回	数を数える —— 数詞／時刻・日付の読み方
第8回	旅の話をする —— 補語人称代名詞／天候の表現
第9回	フランスの乗り物事情 —— 代名動詞／一步進んだ自己紹介の仕方
第10回	ルーアンの街を歩く —— 複合過去形、過去を表わす状況補語／フランスの歴史と建物
第11回	過去について語る —— 半過去形、大過去形／バカンスの楽しい思い出
第12回	別れを告げる —— 単純未来形、前未来形、未来を表わす状況補語／パリの外国料理
第13回	南フランス紹介（1） —— 条件法現在形、条件法過去形／プロヴァンスの香りと芸術
第14回	南フランス紹介（2） —— 接続法現在形、接続法過去形／南仏のおいしい料理
第15回	これまでのレッスンのまとめ／フランス語検定4級の解説
第16回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

前期の授業を踏まえ、フランス語とそれを取りまく豊かな文化の基礎を学ぶ。同時に、「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験4級」の資格を取得できるレベルを目指す。長いスパンで考えれば、フランス語は将来 各分野で役立つと同時に、人生を必ず豊かなものにしてくれる。楽しく学ぶことを目標にしたい。

履修上の注意

前期における授業を履修しただけではフランス語の基礎を十分に習ったことにはならないため、「フランス語Ⅰ」の単位取得者（履修年度は問わない）全てがこの「フランス語Ⅱ」を履修することが望まれる。

また、外国語は声に出して発音してこそ身につくので、授業では積極的に発言していくことが期待される。なお、原則として遅刻は認めない。

予習・復習

授業で指示される予習・復習をきちんと行い、課題をこなすことが求められる。実践してみよう。

評価方法

学期末試験（50%）、課題（30%）、授業参加の割合（20%）などを総合的に評価する。ただし、基本的には、受講生が学習を通して各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く。

テキスト

前期の「フランス語Ⅰ（初級）」につづき、藤田裕二著“Elle est gourmande! 1 Nouvelle Edition”（『新・彼女は食いしん坊！1』、朝日出版社、ISBN978-4-255-35231-2 C1085）を使用する。また、随時プリントを配布する。